



南条っ子

学校だより 第18号

平成30年9月27日

科学工夫作品展

夏休みに子ども達が科学工夫工作や論文に取り組みました。その作品を山武郡市科学工夫作品展に出品しました。(学年から1名)

その作品が審査され、賞をいただきました。どの作品も、子ども達の努力の足跡が見えます。これを機会に、子ども達の「なぜだろう?」「どうしてだろう?」という疑問を大切にして、理科に興味や関心をもてる子ども達を育てていきたいと思えます。



1年	齋藤由貴	ころころぐるま	銅賞
2年	鈴木藍絢	スケートランド	銅賞
3年	實川健太	UFO 君	銀賞
4年	布施和鈴	ゴムではじいてビー玉コロコロ	銅賞
5年	山崎敦也	ビリビリ脱出ゲーム	銀賞
6年	村越結奈	くぎのさび方	銅賞

～ いじめを防ぐために家族でできること ～

千葉県教育委員会で発行している「学校から発信する家庭教育支援」というプログラムがあります。ご家庭での教育のヒントになります。参考にしてみてください。

子どもたちには、本当に「いじめは人間として恥すべき行為である。」としっかり理解させましょう。「善悪の判断」「他人の痛みを感じる」「思いやり」などの心をしっかり育みましょう。

《悪いことは悪いとしっかりしつけよう》

- やってはいけないことや間違っただけはしっかり正している。
- 子どもに対して「自分の行動には責任がともなうこと」をきちんと話している。
- 自分の子どもだけ良ければという考えはしていない。
- 思春期の子どもから逃げずに正面から向かい合っている。
- どんな小さな変化でも、子どもの言動を見逃さないように注意している。
- 身の回りの小さなことから、命や環境を大切にすることを育てている。

《思いやりのある子どもを育てよう》

- 家庭で生活の決まりやルールをつくらせている。
- 低学年から小さくとも家事を担わせ、責任や自立心を育てている。
- 朝の「おはよう」からはじめて、礼儀を身につけさせている。
- 子どもに我慢を覚えさせている。
→ 物の買い与えすぎは、子どもの心をゆがめる。
- 家庭内の年中行事や催事を大切にしている。

《家庭で守るべきルールをつくろう》

- 祖父母を大切にする親の姿をみせている。
- 手助けの必要な人を思いやれるようにしている。
- 差別や偏見は許されないことに気づかせている。
- 生き物とのふれあいを通じて、思いやりの気持ちを育てている。

(市原市青少年指導センター「もう一度家庭を見直そう」より抜粋)

※ 学校いじめ防止基本方針を学校ホームページに載せました。そちらもご覧ください。

